

## 日常生活で排出される化学物質について(平成 30 年度の国の推計値から)

### はじめに

国は、PRTR制度の届出の対象となった事業所からの届出とは別に、届出対象外の事業所や家庭、自動車などの移動体からの排出量(届出外排出量)を都道府県別に推計して公表しています。(福岡市を単位とする推計は行われていません。)

私たちの暮らしに関わる福岡県の家庭及び自動車などの移動体からの平成 30 年度の排出量を、下表に示します。平成 30 年度は前年に比べ、いずれも減少しています。また全国の排出量と比べると、それぞれ 3.60%、3.24%を占めています。

| 区分  | H30 福岡県  | 前年増減     | H30 全国   | 全国比   |
|-----|----------|----------|----------|-------|
| 家庭  | 1,469 トン | △ 209 トン | 40.8 千トン | 3.60% |
| 移動体 | 1,967 トン | △ 174 トン | 60.6 千トン | 3.24% |

※福岡県の届出外排出量について詳しく知りたい場合は、福岡県のページをご覧ください。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/prtr-syuukei.html>

私たちは、下図のように、日常生活で様々な化学物質を利用し、それらを大気や水・土壌を通じて排出しています。



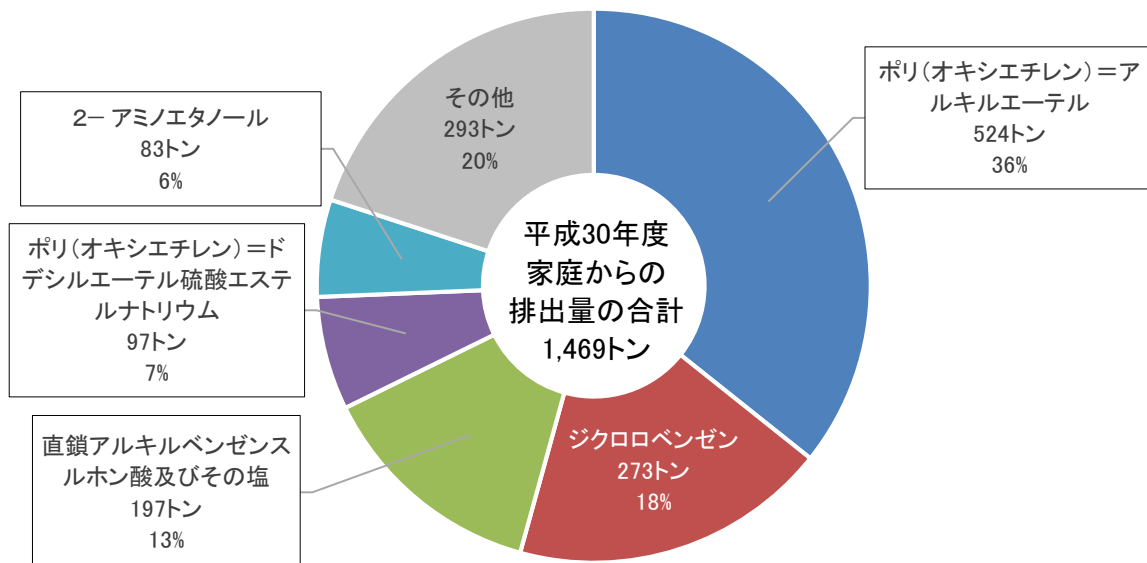
## 家庭からの化学物質の排出

福岡県では、家庭からどのような化学物質が排出されているのでしょうか？

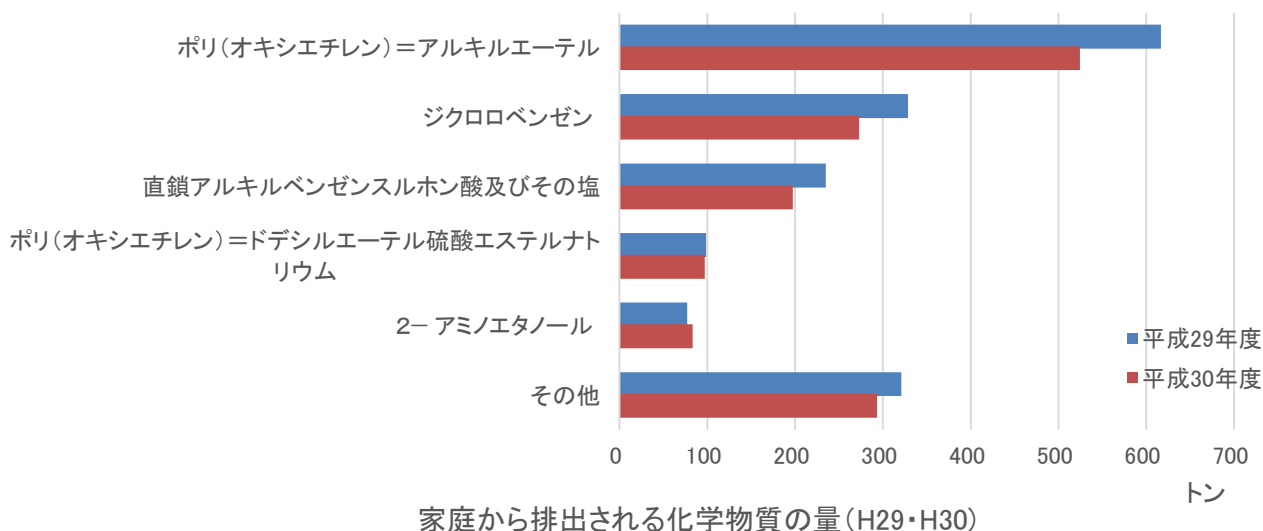
平成 30 年度の家庭からの化学物質の排出量の上位5物質は、平成 29 年度と同じく、1位 ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル、2位 ジクロロベンゼン、3位 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩、4位 ポリ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム、5位 2- アミノエタノールとなっています。

平成 30 年度の家庭からの排出量は 1,469 トンで、平成 29 年度(1,677 トン)と比較するとやや減少しています。それぞれの化学物質の主な用途は次のとおりです。

| 化学物質名称                          | 製品表示名称, 略称等                                 | 家庭用品の用途                      |
|---------------------------------|---|------------------------------|
| ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル            | ポリオキシエチレンアルキルエーテル, AE                       | 台所用洗剤, 洗濯用洗剤, 化粧品のクリームローション等 |
| ジクロロベンゼン                        | オルトジクロロベンゼン, パラジクロロベンゼン製剤                   | 殺虫剤, 衣類の防虫剤, トイレ等の防臭剤等       |
| 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩            | 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム, ドデシルベンゼンスルホン酸 Na, LAS | 洗濯用洗剤, 化粧品等                  |
| ポリ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム | アルキルエーテル硫酸エステルナトリウム                         | 洗剤, シャンプー, 化粧品等              |
| 2-アミノエタノール                      | エタノールアミン                                    | 洗剤, 化粧品等                     |
| ドデシル硫酸ナトリウム                     | ラウリル硫酸ナトリウム                                 | シャンプー, 歯磨き粉等                 |



平成30年度 家庭から排出される化学物質の量の割合



## 自動車などの移動体からの排出

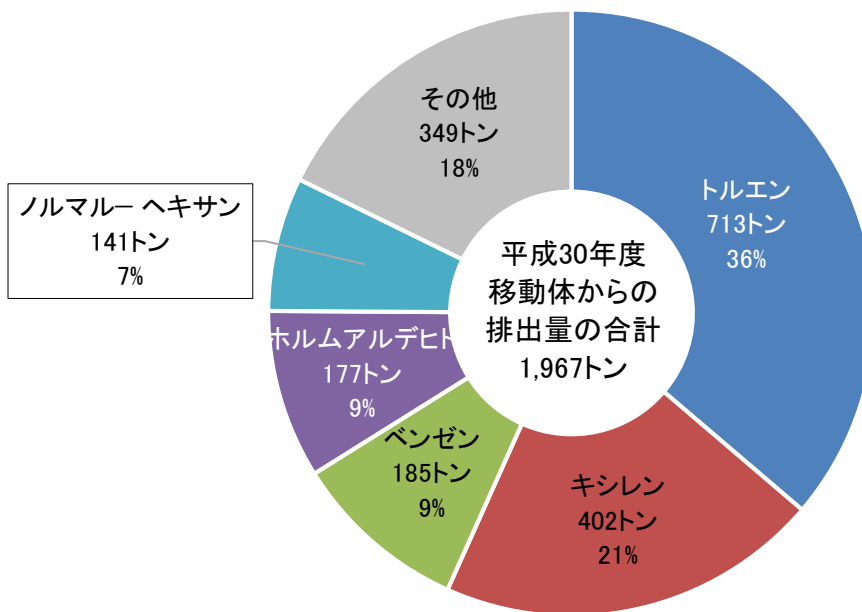
次に、福岡県では、自動車などの移動体からどのような化学物質が排出されているのでしょうか？

平成 30 年度の自動車などからの化学物質の排出量の上位5物質は、平成 29 年度と同じく、1位 トルエン、2位 キシレン、3位 ベンゼン、4位 ホルムアルデヒド、5位 ノルマルーヘキサンとなっています。

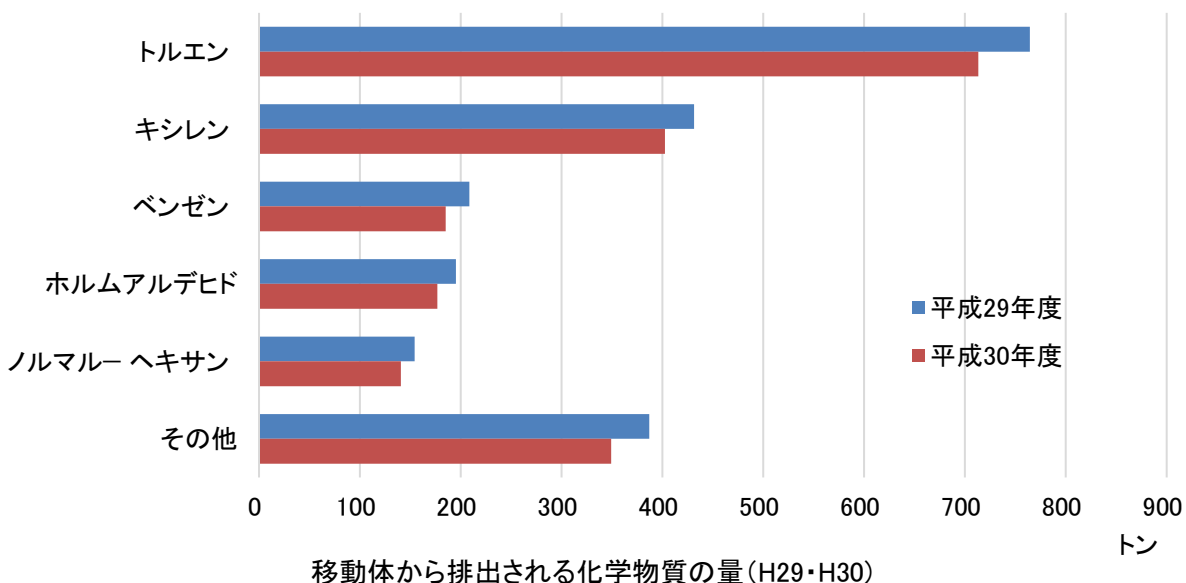
1位から3位までのトルエン、キシレン、ベンゼンはガソリンに含まれている化学物質であり、4位のホルムアルデヒドはディーゼル車からの排出が多いとされ、シックハウス症候群の原因物質の一つと言われています。

自動車、船舶、鉄道車両、航空機等、移動体からの排出量のうち、約8割は自動車からの排出量です。

平成 30 年度の自動車等からの排出量は 1,967 トンで、平成 29 年度(2,141 トン)と比較するとやや減少しています。



平成30年度 移動体から排出される化学物質の量の割合



## 化学物質との上手な付き合い方

私たちの暮らしは化学物質の便利な性質を利用しています。化学物質と上手につきあっていくためには、身の周りの化学物質を正しく理解することが必要です。

また、化学物質のリスクは、化学物質の持つ有害性と暴露量(人が息を吸ったり、食べたり・触れたりすること)が大きく関係します。そこで、暴露量を減らすことや環境に優しい製品を選ぶことが大切です。

**私たちが、日常生活から化学物質を減らすことが排出量の削減につながります。**

具体的には・・・？

- ① 製品の成分表示を読み、環境に優しい製品を選ぶ
- ② 適量を使用し、捨てる時も廃棄方法を守る
- ③ 必要な品物、必要な量を購入する
- ④ 買い物や通勤は自動車より、公共交通機関や自転車を使う
- ⑤ 洗剤を使って洗車をする際は、洗車場で行う

※家庭での化学物質のことについて知りたい方は「[くらしと化学物質](#)」のページをご参照ください。

### ☆福岡市の化学物質情報はこちら

→福岡市環境局HP「PRTRデータの集計結果(H25年度～)」

[https://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/k-hozen/life/kankyohozen/prtrdeta\\_3.html](https://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/k-hozen/life/kankyohozen/prtrdeta_3.html)

### ☆国の公表データはこちら

→環境省 PRTRインフォメーション広場「集計結果の概要 平成29年度」

<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/result/gaiyo.html>

☆地図からのPRTRデータ検索はこちら(個別事業所のデータやグラフを簡単に見ることができます。)

→環境省 PRTRインフォメーション広場「PRTRデータ地図上表示システム」

<http://www2.env.go.jp/chemi/prtr/prtrmap/>